

# 寄付者への礼遇

## ● 税制上の優遇措置

法政大学へのご寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。  
「領収書」と「特定公益増進法人証明書(写)」あるいは「税額控除に係る証明書(写)」を使用して、  
税務署で確定申告を行ってください。

## ● 法政大学顕彰制度

### 1 単年度の寄付金額による顕彰制度

#### 1 寄付者の皆さま全員

- 募金活動報告書の贈呈
- 寄付者芳名録<sup>※1</sup>にご芳名、寄付金額、居住地(都道府県のみ)を掲載

#### 2 10万円以上<sup>※2</sup>寄付していただいた方(個人対象)

下表の礼遇をいたします。

称号種別	礼遇内容	顕彰対象年度
年間サポーター	● 記念品の贈呈 <sup>※3</sup>	寄付をしていただいた年度の1年間を年間サポーターとして顕彰いたします
維持員	● 維持員の集いにご招待 ● 寄付者銘板へのご芳名刻印 ● 広報誌法政の贈呈	4年連続で年間サポーターを継続していただいた翌年度の1年間を維持員として顕彰いたします

<sup>※1</sup> 芳名録にはご希望によりご芳名を掲載しないことも可能です。寄付申込書等にて、匿名を希望することをご選択ください。なお、単年度に複数回の寄付をされた方で、一部の寄付で匿名を希望された場合には、すべての寄付を匿名としてご芳名の掲載を控えるようにいたします。  
<sup>※2</sup> 4月1日から翌年3月31日までに寄付いただいた合計額  
<sup>※3</sup> 記念品は顕彰対象年度の翌年度4月(予定)に贈呈いたします。

### 2 累計金額による顕彰制度(個人対象)

下表の名誉称号贈呈と礼遇をいたします。

称号種別	累計寄付金額	礼遇内容
特別名誉賛助員	1億円以上	● 名誉称号の贈呈 ● 賛助員の集いにご招待
名誉賛助員	1千万円以上	● 寄付者銘板へのご芳名刻印
特別賛助員	5百万円以上	● 広報誌法政の贈呈 ● 記念品の贈呈
賛助員	3百万円以上 冠興学金創設者 その他大学が認めた者	● 時節のご挨拶 ● 学内諸行事へのご招待

<sup>※</sup> 名誉称号は前年度末までの寄付の累計金額を基準として年度ごとに決定します。

## III 申込方法

### 1 インターネットによるお申込み

法政大学募金ウェブサイトからお申込みいただけます。

法政 寄付 検索

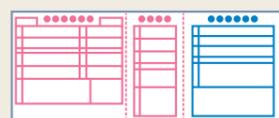


<https://bokin.hosei.ac.jp/>  
にアクセスしてください。  
スマートフォンからも寄付ができます。



### 2 専用振込用紙によるお申込み

専用振込用紙は、  
法政大学募金ウェブサイトから  
資料をご請求いただくか、  
下記問い合わせ先までご連絡ください。



# 法政大学 募金活動 報告書 2021



HOSEI UNIVERSITY



FUND REPORT 2021



# 2021年度 募金事業ダイジェスト

皆さまからの温かいご支援により、たくさんの学生・生徒に 元気と希望を届けることができました。

2021年度の募金活動の実績と成果をご報告いたします。コロナ禍で学生・生徒の学ぶ環境が大きく変化中、ご支援くださる皆さまは法政大学にとって心強い存在です。法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」の実現のために、法政大学は皆さまとともにこれからも歩んでまいります。

## HOSEIみらい募金



●寄付金額  
**121,792,305円**

創立150周年に向けた長期ビジョン「HOSEI2030」の実現のために活用いたします。「HOSEI2030」の実現により、教育、研究、社会貢献を通して、急激な社会環境変化の中で持続可能な地球社会の構築を目指します。

## 奨学金サポート



●寄付金額  
**58,560,628円**

修学意欲があるにもかかわらず、経済的困難により学びを継続することが困難な学生を支援し、一人でも多くの有能な人材を社会に輩出します。

## 施設設備サポート



●寄付金額  
**785,302円**

キャンパスの教育研究環境を整備し、学生が安心安全で充実した環境で学ぶことを支援します。

## 学生生活サポート



●寄付金額  
**1,957,022円**

教室外での学び(正課外教育)を充実させ、学生間の絆を強め、人間力が豊かな人材を育成します。

## 国際化サポート



●寄付金額  
**2,734,000円**

新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、世界のどこでも生き抜く力を持ったグローバル人材を育成します。

## 学校サポート



●寄付金額  
**4,678,213円**

法政大学が設置する学校の教育活動補助として活用します。各学校が今必要としている事業に充てられます。

## 新型コロナウイルス対策支援



●寄付金額  
**20,114,241円**

コロナ対策により、学生や教職員が安心して交流できる環境を整え、キャンパスでの主体的な活動を取り戻すことを実現します。

## スポーツサポート



●寄付金額  
**28,445,744円**

各クラブの活動の補助として活用し、学生がクラブ活動を通して健やかに成長できるよう支援します。

## 研究・文化活動サポート



●寄付金額  
**4,222,338円**

社会課題を解決する「実践知」を創出しつづけ、世界が抱える課題の解決に貢献します。

## 社会貢献プロジェクト



●寄付金額  
**7,956,061円**

社会課題が多様化する現代において、大学は教育研究活動を通して課題解決を行うことを求められています。法政大学ではさまざまな「社会をよくするためのプロジェクト」を進め、社会貢献活動を推進しています。

## 法政大学募金活動報告書2021 INDEX

- 2021年度 募金事業ダイジェスト .....1
- HOSEIみらい募金 .....3
- リーディング・ユニバーシティ法政募金
- 奨学金サポート.....5
- 施設設備サポート.....6

- 学生生活サポート .....6
- 国際化サポート .....7
- 学校サポート .....8
- 新型コロナウイルス対策支援 .....8
- スポーツサポート .....9

- 研究・文化活動サポート .....12
- 社会貢献プロジェクト等 .....15
- 法政大学憲章 .....16
- 募金活動収支報告 .....17
- 寄付者への礼遇、申込方法、問い合わせ先 .....裏表紙

# HOSEI 未来募金



## 持続可能な地球社会の構築を目指す 「HOSEI2030」実現のために

HOSEI 未来募金へのご寄付は、長期ビジョン「HOSEI2030」の実現のために活用させていただいております。「HOSEI2030」の実現のための事業は、本学の教育、研究、社会貢献活動そのものに留まらず、その基礎となるダイバーシティ化など多岐にわたります。皆さまからのご寄付は、これらの事業全体に活用させていただいております。

### DATA

2021年度  
活動成果

#### ○実施事業一覧

- アクティブラーニングの推進による実践知教育の実現
- 学習支援システムの運用とフルオンデマンド授業の拡充
- ブランディング活動の推進
- 理系学部研究室検索システムの運営と理系学部研究室ガイドの作成
- 「社会人学び直し」への多様な取り組み
- 通信教育部におけるメディアスクーリングの拡充
- 持続可能社会構築に向けた研究力強化
- 理工系学部における男女共同参画推進
- ダイバーシティ推進
- キャンパス・アイデンティティの確立
- 校友ネットワークの世界展開

#### ○寄付金額

121,792,305円

### Support | 活用事例

事例  
3

## ブランディング活動の推進



自由を生き抜く実践知大賞授賞式

法政大学では、法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」に表現されている、本学の「価値」と「ブランド=社会との約束」を学内外に広く認知、理解してもらうことを目的として、ブランディング活動を推進しています。そのブランディング活動の一つである「自由を生き抜く実践知大賞」では、法政大学憲章を体現する教員・教諭、職員、学生・生徒の実践事例を募集し、その中から大賞を選出し、その事例を学内外に発信しています。憲章の制定や憲章の精神を体現する取り組みを学内外に広く発信・共有することで、本学のブランドを一層高めることを目指しています。

事例  
4

## 理系学部の魅力発信

法政大学は、情報科学部、デザイン工学部、理工学部、生命科学部の4つの理系学部を擁しています。これらの学部では、多彩な研究・教育活動を実践しており、特に各学部が設置する研究室の魅力を受験生に向けて発信することに力を入れています。

研究室紹介冊子である『理系学部研究室ガイド』を作成し受験生に配付することに加え、法政大学公式入試情報サイトで理系学部研究室検索システムを導入・運営し、ウェブサイトでのプロモーションも強化しています。



理系学部研究室ガイド2022ウェブサイト版



理系学部研究室ガイド2022冊子版

事例  
5

## 履修証明プログラムなどの社会人学び直しに資する多様な取り組み

法政大学は、社会人の学びの場としての機能をより一層高めてゆくことを目指して、2021年4月にリカレント教育オフィスを設置しました。

2021年度は「健康とスポーツ」「SDGs Plus 履修証明プログラム」「ヘルスケア・マネジメント講座」の履修証明プログラム、オンラインによる公開講座、必要な情報にアクセスしやすいウェブサイトの構築などに取り組みましたが、これらの実施運営等に皆さまのご支援を活用させていただきました。

今後も、社会のニーズに応じた、また、多くの社会人の方に利用していただけるような取り組みを展開していきます。

### Support | 活用事例

事例  
1

## アクティブラーニングの推進による 実践知教育の実現

アクティブラーニングの推進により、教員による一方向的な講義形式の授業ではなく、学生が能動的に学習できる環境を整備し、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた実践知の育成を目指します。オンライン授業も実施される中、学生間で一層の自由な議論ができるようにピア・ラーニング・スペースを拡充しました。

また、「リアクションペーパー」「アクティブラーニングセット※」を設置し、教員が授業で活用することでもアクティブラーニングの推進を図っています。

※「アクティブラーニングセット」: KJ法などに活用できる付箋(75mm×75mm)、黒・赤ペンを1セット



ピア・ラーニング・スペース



アクティブラーニングセット  
(基本セット)

事例  
2

## 学習支援システムの運用とオンライン授業コンテンツの拡充



学習支援システムの画面

学習支援システム(LMS: Learning Management System)の運用費用とオンライン授業コンテンツの制作・運用費用として活用いたしました。学習支援システムは、「教材確認」「課題提出」「テスト/アンケート」「授業内掲示板」「授業からのお知らせ」の機能で構成され、学生はパソコン、スマートフォンなどからアクセスでき、効果的な学習を行うことが可能です。学習支援システムからオンライン授業にアクセスすることもでき、オンライン授業で活用する授業コンテンツ・教材コンテンツを拡充することで、より充実した授業の実施が可能となりました。

# リーディング・ユニバーシティ法政募金

## 奨学金サポート



### 経済的支援が必要な学生の学びを止めさせないために

法政大学の奨学金制度は皆さまのあたたかいご支援により支えられています。「法政大学サポーターズ奨学金(返還不要)」と「家計急変学生支援奨学金(返還不要)」の原資として活用させていただいております。学生の学びを止めさせないために、一人でも多くの有能な人材を社会に送り出すために、ご支援をお願いいたします。

DATA	2021年度活動成果	○実施事業一覧	○寄付金額	○奨学金受給生数
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■法政大学サポーターズ奨学金の給付</li> <li>■家計急変学生支援奨学金の給付</li> </ul>	<b>58,560,628円</b>	<b>181人</b>

### Voice | 奨学生の声

●この度は「法政大学サポーターズ奨学金」に採用していただき、誠にありがとうございます。いただいた奨学金は、卒業論文執筆にあたり必要な参考文献の購入に充てたいと思っております。家計の経済状況が苦しく、不安な面が多々ありましたが、お陰をもちまして一層勉学に励むことができます。残りの学生生活も悔いの残らないように過ごしたいと思っております。最後になりましたが、ご支援をくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。

●この度は採用していただき本当にありがとうございました。大学3年になり、自分の進路というものに向き合っていく中で、公務員としてお世話になった地元に戻りたいと強く思うようになりました。必ず実現し、夢を叶えます。改めてこの度はありがとうございました。

●この度は奨学金の支援をいただきまして、心より感謝しております。皆様方のご支援のおかげで学業に専念、大学生活を全うすることができています。希望企業の就職も決まりました。来年からは立派な社会人として自立し、法政大学出身の名に恥じぬよう、一層努力、精進して参ります。ご支援をくださった皆様、大学関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

●法政大学サポーターズ奨学金を使って資格の習得や大学の勉学に集中して取り組むことができます。ありがとうございます。私はさっそく英語や公認会計士、商業簿記などの講座に挑戦しています。これからも様々な経験に生かしていきます。

●この度はご支援頂き、誠にありがとうございます。私は情報科学部で主にコンピューターの勉学に励んでいます。機器を扱うため、学費のご支援は大変ありがたく思います。この御恩を忘れずに勉学に努め、大学での学びを活かし、社会に貢献したい所存です。

●法政大学サポーターズ奨学金を給付していただきありがとうございます。この奨学金のおかげで唯一の働き手である母と、バイトに明け暮れている私の負担が軽減されます。これからは学業やサークル活動に時間を割いて学生生活を充実したものにしようと思っております。この支援の輪がさらに広がっていくよう祈っております。

●この度は奨学金のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。母子家庭であることから、アルバイトによる収入が家計の重要な軸となっており、新型コロナウイルスにより経済状況が難しくなりそうでしたが、今回のご支援が励みとなりました。最後まで真面目に学生生活を送り、就職後も立派な社会人として自立できるよう努力致します。

●多額の奨学金をいただきありがとうございます。おかげ様でアルバイトをする時間を減らすことができ、勉強に専念できました。大学で学んだことを生かし、人の役に立てるような人間になれるよう日々努力してまいります。そして将来は法政大学の学生を支援したいです。



## 施設設備サポート



### 安心安全なキャンパス環境の整備のために

2021年度は多摩キャンパスと小金井キャンパスのグラウンド整備に活用させていただきました。芝の張替えなどの老朽化したスポーツ施設・設備のメンテナンスにより、体育授業やクラブ活動でのケガの予防や教育効果の向上を図りました。

#### Support | 活用事例

##### ●多摩キャンパスグラウンド



定期整備ブラッシング作業

##### ●小金井キャンパスグラウンド



定期整備作業

#### DATA

2021年度活動成果

##### ○実施事業一覧

- 多摩キャンパスグラウンド整備
- 小金井キャンパスグラウンド整備

##### ○寄付金額

**785,302円**

## 学生生活サポート



### 学生の成長を促し人間力を育む機会に

#### DATA

2021年度活動成果

##### ○実施事業一覧

- 課外教養プログラム「甲子園ボウル応援ツアー」

##### ○寄付金額

**1,957,022円**

#### Support | 活用事例



過去のボランティア活動風景

##### ●ボランティア活動

2021年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、寄付金を活用した事業を実施いたしませんでした。2022年度は、8月下旬実施予定の「東北被災地ボランティアツアー」に寄付金を活用させていただく予定です。40名の学生を被災地に派遣し、被災地の現在のニーズに合わせたボランティア活動を実施したいと考えています。学生が実際に被災地に行き、体を使ったボランティア活動や、現地のコミュニティ支援を通して被災地に寄り添う活動をすることにより、被災地への社会貢献を果たしたいと考えています。また、参加学生が被災地の当時の様子や教訓、復興までの軌跡を学ぶことによって、防災意識の向上や震災の教訓の風化防止も期待したいと考えています。

##### ●ピアニット

2021年12月19日に阪神甲子園球場にて開催された、アメリカンフットボールの東西大学王座決定戦である「甲子園ボウル(法政大学対関西学院大学)」観戦ツアーを実施し、定員満員の20名の学生が参加いたしました。

ツアー参加学生へのアンケートでは、企画の満足度への質問で「大変満足である」という回答が100%でした。コロナ禍において、学生同士でスポーツ観戦をする機会が激減しておりましたが、本企画の開催を通して、学生同士のつながりや法政大学への愛校心の涵養の大切さを再認識することができました。



甲子園ボウル観戦ツアー

## 国際化サポート



### 世界でチャレンジする グローバル人材の育成へ

法政大学では、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、世界のどこでも生き抜く力を持ったグローバル人材の育成を進めています。

2021年度より新設した「法政大学海外留学ファースト・チャレンジ奨励金」は、学外機関が主催・提供する海外留学・海外研修プログラム（語学留学、海外ボランティア、海外インターンシップ、課題解決型プログラム等）に参加する学部1・2年生を対象に、プログラム参加費用や渡航費・滞在費を給付する返還不要の奨学金で、全額を皆さまからのご寄付により運営しています。2021年度は7名の奨学生を採用しました。

#### DATA

2021年度  
活動成果

○実施事業一覧

■法政大学海外留学ファースト・チャレンジ奨励金の奨学生への給付

○寄付金額

2,734,000円

#### Voice | 法政大学海外留学ファースト・チャレンジ奨励金 奨学生の声

##### ●吉賀美帆（法学部国際政治学科・1年）

本奨励金をいただき、一歩踏み出して海外オンラインインターンシップという新しいことに挑戦することができました。このような機会をいただけたこと、心より感謝申し上げます。

私はかねてより国際開発に興味があったことから、アフリカ・トーゴの伝統布と西陣織を融合させたファッションアイテムを展開する京都のショップでインターンシップに参加しました。相手の気持ちや考えを読み取ること、自分の思いを伝えることといったオンラインならではの難しさを感じた一方で、東京と京都、日本とトーゴという物理的な距離を超え、互いに影響

し合い、同じゴールに向かってともに歩むことができるのだと学びました。そして、私がこのインターンシップで知り合った方々は、強い信念と行動力で世界に対して活動されています。そうした方々と触れ合う中で、世界と私には自分が思っていたほどの壁がなく、地続きであることも実感しました。これから自分が学ぶことや経験することが世界に少しでも役立つことがあるかもしれないと、日々の生活の目線が少し上がったように感じています。今後は現地に足を運ぶ、アイデアを形にするといった実践的な活動を通して学びを深めていきたいと考えています。

##### ●山崎そら（グローバル教養学部グローバル教養学科・1年）

この度は奨励金の支援をいただきありがとうございました。

私は支援いただきました奨励金で、フィリピンの語学学校で、IELTS対策の授業プログラムに参加いたしました。コロナ禍でオンライン実施となりましたが、毎日6コマ（1コマ1時間）で2週間、マンツーマンで教えていただけるコースでした。各コマでReading・Listening・Writing・Speakingの4技能をそれぞれ専門講師の方々に実際に問題を解きながら教えていただきました。

このプログラムに参加したことによって、それまで曖昧だったIELTSの勉強方法を学ぶことができ、実際に試験で役に立つスキルやポイントを得ることができました。

今後は、学部の制度を使ってイギリスに留学したいと考えています。そのためにはIELTSの高スコアは必須のため、さらにスコアを上げるためにこれからも勉強に励みたいと思います。

この度はこのような機会をいただきありがとうございました。

##### ●周防恵愛里（法学部国際政治学科・1年）

この度は、海外留学ファースト・チャレンジ奨励金を支給して頂きまして、ありがとうございました。オンラインとはいえ決して安くはない費用だったので、今回このような制度があることはとても力になりました。

私がこの夏参加したプログラムは、アメリカの語学学校で国際インターンシップをしながら英会話クラスを受講するものです。

プログラムを通して得た学びは、計画を立てて早めに行動することを常に心がける、スケジュール管理の大切さです。毎週振り返りをして、反省点や

次週の課題を見出すことで、より良い活動が生まれました。さらに、スケジュール管理は仕事だけではなく、大学生活でも授業やサークル、アルバイトなどにおいても必要なことだと学ぶことができました。

留学準備のために今回の国際インターンシップの参加を決めたので、今後は英語力向上のために努力をしていきたいです。さらに、オンラインではないインターンシップや短期留学などに自ら参加する行動力をつけていきたいです。

## 学校サポート



### 法政大学が設置する学校の教室設備や 外国人留学生のサポートなどに活用

学校サポートへのご寄付は、各学校に活用方法を一任させていただいておりますが、2021年度は、教室設備の充実、外国人留学生へのサポート、奨学金などに活用させていただきました。

#### Support | 活用事例

##### ●【大学】プロジェクター等のAV機器備品の更新

市ヶ谷キャンパスと小金井キャンパスのAV機器備品の更新のための費用として活用させていただきました。

##### [更新した教室一覧]

●市ヶ谷キャンパス	
市ヶ谷町校舎	7教室 (T203 ~ T209)
富士見坂校舎	8教室 (F501 ~ F508)
外濠校舎	7教室 (S401 ~ S404, S601 ~ S603)
ポアソナード・タワー	6教室 (0800, 0900, 1000, 1100, 1200, 1300)
新一口坂校舎	4教室 (演習室, 302 ~ 303, 501)

●小金井キャンパス	
東館	9教室 (E202 ~ E210)



市ヶ谷キャンパス教室



小金井キャンパス教室

#### DATA

2021年度  
活動成果

○実施事業一覧

■【大学】  
プロジェクター等のAV機器備品の更新

■【大学院】  
外国人留学生へのチュータリング、  
チューター日本語相談室の運営

■【法務研究科】  
法政大学大学院法務研究科奨学金

■【イノベーションマネジメント研究科】  
ホームページ制作、授業用ソフトウェア  
購入、アカデミックガウン購入など

■【中学高等学校】  
校具・教具の修理更新のためのつみたて

■【第二中等学校】  
校具・教具の修理更新のためのつみたて

■【国際高等学校】  
校具・教具の修理更新のためのつみたて

○寄付金額

4,678,213円

## 新型コロナウイルス対策支援



### ワクチンの大学拠点接種を実施

「よき師よき友つどひ結べり」と法政大学校歌の歌詞にあるように、大学のキャンパスは、世界中から学生や教職員が集い、ともに学び、ともに働き、主体的に活動を行う場です。大学拠点接種を実施することにより、学生や教職員が安心して交流できる環境を整え、一日も早くキャンパスでの主体的な活動を取り戻すことを実現したいと考えています。

#### DATA

2021年度  
活動成果

○実施事業一覧

■新型コロナウイルスワクチン  
大学拠点接種

○寄付金額

20,114,241円

# スポーツサポート

## 法政スポーツで社会を元気に

皆さまからのご寄付は、各クラブのトレーニング機器の購入・修繕にかかる設備関係経費、合宿や遠征にかかる旅費、トレーナーやドクターを雇う人件費等に活用させていただいております。法政スポーツで社会を元気にできるよう、これからは精一杯クラブ活動に取り組んでまいります。

DATA

2021年度  
活動成果

○実施事業一覧

■体育会各部・応援団の活動支援

○寄付金額

28,445,744円

Voice | 学生の声

### ● アメリカンフットボール部



この度は過分なる御寄付をいただきましてありがとうございます。部活動資金として大切に使用させていただきます。昨年は甲子園ボウル出場を果たしましたが、準優勝という悔しい結果に終わってしまいました。今年はより一層チーム一丸となり、日本一を目標に精進して参る所存です。今後共ご支援の程よろしくお願ひ致します。

### ● ボクシング部



部の練習器具などを購入させていただいております。部活動、勉強そして社会人として、法政人としての誇りを力に活躍していけるよう今後とも精進して参ります。2021年度の主な成績:関東大学トーナメント戦 2部リーグ優勝、全日本選手権3位(1名) 2022年度の抱負:関東大学リーグ戦 2部優勝及び1部昇格

### ● 自転車競技部



皆様よりの温かいご支援により円滑な運営が可能となっております。部活動を通して社会よりご評価頂けるアスリート、並びに社会人を輩出して参る所存です。戦績:インカレ 男子チームスプリント 3位、インカレ女子チームスプリント 3位、インカレ女子トラック総合優勝 2022の抱負:「インカレ総合優勝」

### ● 山岳部



2021年度、法政大学山岳部では、夏には剱岳、冬には富士山や北岳と、多くの山に登りました。その他にも、フリークライミングや沢登りなど、コロナ禍でも積極的に活動してまいりました。2022年度は、更なる高みを目指して、より安全な登山を心がけてまいります。今後とも応援よろしくお願ひ致します。

### ● 自動車部



弊部は昨年度、全日本学生ジムカーナで団体12位、全日フィギュアで男子団体9位、女子団体10位、GT Young Challengeで団体6位に入り、軽耐久では優勝を勝ち取りました。本年度は3年生が最学年ですが、引き続き優勝に向け精進して参ります。皆様にはご支援ご声援のほど宜しくお願ひ申し上げます。

### ● 水泳部



本年創部百周年を迎えます。「水泳は人間形成の道なり」のスローガンの下、男子は3度インカレ総合優勝に輝き、オリンピックにも多数選手を輩出しています。女子は昨年インカレ総合5位に輝き、総合初優勝を目標に頑張っています。インカレで男女ともに優勝した大学はなく、新しい歴史の1ページを作るためにもご支援をお願い致します。

### ● サッカー部



法政大学体育会サッカー部として創部100周年を迎える今シーズンも多くの方を笑顔にできるように、目標である「5冠達成」に向かいトレーニングに励んでいきます。ご支援いただきありがとうございます。2021年度主要戦績:2021年アミノバイタルカップ 準優勝、2021年全日本総理大臣杯優勝(写真右)

### ● スケート部



【アイスホッケー部門】  
ご支援を無駄にする事なく競技及び学業に邁進して参ります。2021度はコロナの影響でインカレ以外の大会は縮小しての実施となりましたがインカレでは3位になりました。秩父宮杯 5位、関東大学リーグ戦 4位、94回インカレ 3位 今年度は更に上位進出できるよう日々努力していきます。



【スピード部門】  
昨年度のインカレで総合9位でした。全日本学生選手権大会では入賞があったものの全体としては満足いく結果にはなりません。今年の目標はインカレで総合入賞、全員の全日本選抜権も獲得です。昨年のインカレで味わった悔しさを糧に頑張ります。応援よろしくお願ひします。



【フィギュア部門】  
昨年度はインカレでは6名が本戦に進み、7級女子クラスで弊部の渡辺が2位という結果をおさめました。また全日本選手権に2名が出場し、渡辺が6位入賞と好成績をおさめ世界ジュニア代表に選出されました。今年度は部員数も22名に増えたため、より切磋琢磨しながらインカレ総合優勝を目標に練習に励みます。

### ● バスケットボール部



【男子】  
2021度はリーグ戦は9位に終わり、目標としていた1部昇格は達成できませんでしたが、今年こそ1部昇格を達成できるように日々精進して参ります。



【女子】  
2021年度は3部で上位になることができませんでした。しかし、今年度は2部昇格に向け、チーム一丸となって頑張ります!

Voice | 学生の声

### ● スキー部



スキー部にあたたかいご支援を賜りありがとうございます。今後とも応援よろしくお願ひいたします。2021年度実績:全日本学生スキー選手権大会 男子総合10位、リレー 6位、女子総合6位、ジャンプ競技個人準優勝 2022年度目標:同大会 男子総合5位以内、女子総合5位以内、リレー 5位以内、個人種目優勝

### ● ハンドボール部



【女子】  
2021年度は新型コロナウイルスの影響による春季リーグ中止に伴い、チームとしての目標が叶わない結果となりました。2022年度は「史上初のインカレ出場・1部昇格」という目標を掲げ、チーム一丸となってこの目標を達成できるよう尽力して参ります。

### ● テニス部



日頃は多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。2021年度主な戦績は、全日本学生室内テニス選手権・男子シングルス第3位、全日本学生テニス選手権・女子シングルスと男子ダブルスでベスト8でした。2022年度は、男子は大学王座優勝、女子は関東1部昇格を目指して参ります。

### ● 野球部



いつも弊部へのご支援本当にありがとうございます。昨年度は、東京六大学野球リーグにおきまして、春4位、秋5位と残念な結果に終わりましたが、今年度は春秋優勝、大学一になるべく戦ってまいります。選手の元気で洗剤としたプレー姿を法政関係者、卒業生の皆様にお見せしたいと思ひます。

### ● 馬術部



多大なるご支援を頂きありがとうございます。2021年度は全日本学生賞典馬場馬術競技において太田直希とミルトス号が18位という成績を取め、関東学生馬術女子競技大会の女子馬場馬術競技では山田未沙希とミルトス号が7位に入賞いたしました。今年度も人馬一体となり、インカレでの上位入賞を目指してまいります。

### ● 陸上ホッケー部



2021年度においては、春季関東学生リーグ1部4位、第40回全日本大学ホッケー王座決定戦ベスト8、秋季関東学生リーグ1部5位などの成績を上げました。2022年度においては、チームの変革、ベースとなる個人の意識改革を行い、インカレでの上位進出を目指して、日々の練習、試合に励んでいます。

### ● ラグビー部



昨シーズンもコロナ禍での活動となりましたが、飛躍というチームスローガンを掲げ、公式戦は2勝5敗の6位という結果で終わりました。2022年度シーズンは、突破というチームスローガンを掲げ、全国大学選手権ベスト4を目標にトレーニングに取り組みたいと思ひます。

### ● フェンシング部



この度は過分なるご寄付を誠に有難うございました。ご寄付は、用具購入や遠征費補助などに活用しており、本年2月には新たな審判機等を購入することができました。今後も皆様のご期待に沿うとともに、感謝の気持ちを忘れず、部員一同、学生王座決定戦、インカレ、そして全日本選手権での団体優勝を目指して参ります。

### ● 相撲部



温かいご支援を賜りありがとうございます。2021年度はコロナ禍の影響により大会中止・延期が相次ぎましたが、第100回東日本学生相撲選手権大会(B/Cクラス)2位、第99回全国学生相撲選手権大会Bクラス団体3位という結果でした。2022年度も感染対策の上、上位目指し努力してまいります。

### ● 卓球部



あたたかいご支援を賜りありがとうございます。2021年度成績:  
・秋季・関東学生卓球リーグ戦1部 第3位  
・関東学生新人選手権 男子シングルス 第3位  
・関東学生卓球選手権 男子シングルス ベスト8  
2022年度抱負:関東学生卓球リーグ戦でAクラス入りを目指して頑張ります。

### ● ソフトテニス部



いつもご支援、応援をいただきありがとうございます。2021年度は関東春季リーグ2位、個人戦では内藤・桑山ペアが関東学生準優勝という結果を残しました。今年度は、部の目標である全日本学生選手権、関東リーグ優勝に向け、チーム一丸となり全力で取り組む所存でございます。

### ● 準硬式野球部



昨年度は東京六大学春季リーグ戦優勝、第73回全日本大学準硬式野球選手権大会出場を果たしました。本年度は、目標である第74回全日本大学準硬式野球選手権大会優勝に向け精進いたします。寄付者の皆様におかれましては、日々ご支援いただき誠にありがとうございます。今後とも弊部を何卒よろしくお願ひ致します。

### ● バレーボール部



皆さまからのご寄付でパソコンを購入いたしました。リーグ戦やインカレ等の公式戦や練習ゲームにおける相手チーム及び自チームの分析をするソフト(データバレー)を使用し、課題ポイントを探って自チームの現状把握及び強化に役立てております。有望新人が加入した2022年度は1部昇格目指し頑張ります。

### ● ヨット部



皆さまからのご支援で、私たちは470級1艇、スナイプ級1艇の計2艇の新艇を発注し、2021年9月末納艇されたことをご報告いたします。競技で使用する艇は高額のため2~3年に一度、1艇の導入です。それが今シーズンは、2艇も導入でき、思い切り大会に取り組むことができました。本当にありがとうございます。

### ● 陸上競技部



平素よりご支援・ご声援ありがとうございます。昨年度は東京オリンピックや全日本大学駅伝出場、箱根駅伝ではシード権を獲得いたしました。そして今年度は、ワールドユニバーシティゲームズや世界選手権、出雲駅伝にも出場予定です。今後とも部員一同精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### ● 空手部



いつも法政大学体育会空手を応援していただきありがとうございます。2021年度は関東団体3位、全日本団体ベスト16という結果となりました。2022年度は全日本優勝を目標に稽古に励んで参りますので、応援宜しくお願い致します。

Voice | 学生の声

● バドミントン部



2021年度は全日本学生選手権大会にて男子団体準優勝、秋季リーグでは男子が1部優勝、女子が1部準優勝する成績をあげました。多くのシャトルを使用することができる環境があるのは、皆さまからのご支援のおかげです。リーグ、全日本学生選手権にて男女優勝できるように今後も努力してまいります。

● 重量挙げ部



いつもご支援いただきありがとうございます。創部から70年を越え、オリンピックなど世界の舞台でも成果を残してまいりました。2021年度成績：全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 優勝(団体)、東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 優勝(団体) 2022年度抱負：インカレ連覇

● 剣道部



皆様方からのご支援、ご期待に沿うことができるよう部員一同精進して参ります。2021年度実績：関東学生剣道選手権大会準優勝、関東女子剣道選手権大会準優勝・敢闘賞、関東学生剣道優勝大会敢闘賞、関東女子学生剣道優勝大会第三位、全日本女子学生剣道優勝大会準優勝、全日本女子学生剣道選手権大会優勝 2022年度抱負：日本一

● ワンダーフォーゲル部



2021年度は、新人訓練合宿、夏合宿及び秋合宿の縦走登山と、冬合宿、春合宿の山スキーを行いました。多くのOB・OGの皆様のお力添えのおかげで、安全に合宿が行えましたことに心より御礼申し上げます。2022年度は2週間の長期夏合宿を行い、北アルプスの踏破を目標としております。

● ボート部



2021年度、第48回全日本大学選手権にて女子オドルブル6位、女子シングルスカル8位という結果を残しました。2022年度の主な大会として、第100回全日本選手権並びに第49回全日本大学選手権があります。出場選手全員が決勝へと駒を進め、メダル獲得することを目標に日々練習に励んでいます。

● 弓道部



男子リーグ戦において2位、全関東大会において女子準優勝と苦しい年となりましたが部員一同、最後まで自分の弓と向き合うことができました。本年度は、全タイトル制覇に向けて部員一同何事にも挑戦する気持ちを忘れず、精進したいと思っております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

● ラクロス部



LU募金を通じてのご支援、心より感謝申し上げます。昨年度、女子部は1部Bブロック3位、男子部は2部Cブロック2位という成績を収めました。今年度、女子部は「学生王者」、男子部は「一部昇格」を目標に活動しております。目標達成に向けて日々精進して参ります。応援の程宜しくお願い致します。

● モーターボート・水上スキー部(準加盟)



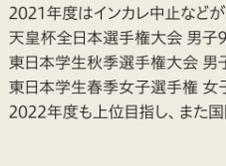
前年度は全日本学生水上スキー選手権において男子団体9位、女子団体7位、女子個人総合3位を獲得することができました。今年度は男子団体5位、女子団体5位、その他個人での入賞を目標としています。今年度もより強くより大きい部活を目指して活動して参りますので、お力添えの程よろしくお願い致します。

● 柔道部



部員24名で活動しており、恵まれた環境で、学業と部活を両立できることに日々感謝しております。全日本学生柔道体重別団体優勝大会出場、講道館杯全日本柔道体重別選手権大会出場 チーム目標「全国大会団体戦入賞」 2022年は一人ひとりがチーム目標を再確認し、達成に向けて切磋琢磨していききたいと思います。

● レスリング部



2021年度はインカレ中止などが続きましたが、堅実に練習に励んで参りました。天皇杯全日本選手権大会 男子97kgフリー 4位 東日本学生秋季選手権大会 男子フリースタイル70kg 2位 東日本学生春季女子選手権 女子50kg級 2位、3位 2022年度も上位目指し、また国際大会での活躍も視野に入れ努力します。

● 航空部



航空部をご支援いただきまして、創部93年目を迎えることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。今年も安全運航に努め、全国大会、関東大会、六大学対抗戦など各大会で好成績を残せるよう訓練に励み精進して参ります。昨年度成績：全日本グライダー競技大会 個人優勝、団体準優勝

● 射撃部



体育会射撃部の活動のために多額のご寄付を賜り、誠にありがとうございます。2021年度は、全日本大会個人優勝を始め、多くの入賞者を輩出することができました。2022年度は、全日本大会総合優勝に向け、より一層励んで参る所存です。皆様におかれましては、今後とも応援のほど宜しくお願い申し上げます。

● ゴルフ部



2021年度は、男子団体 春Bリーグにて7位により、Cリーグ降格、秋Cリーグにて優勝したためBリーグ昇格しました。女子団体 春Bリーグ2位にて残留、秋Bリーグ3位にて残留でした。2022年度は、男女共にAリーグ昇格を果たします。個人戦ではより多くの部員が全国大会に出場できるように日々努力していきます。

● 少林寺拳法部



昨年度は特に級拳士が好調な成績を残しました。今年度は級拳士の入賞はもちろんのこと、有段者となっても成績を残せるだけの技術力を身につけること、また、少林寺拳法の理念である真に勇敢でありながら謙虚である、自信に満ち溢れた拳士として成長することができるよう誠心誠意尽力たく存じます。

● 洋弓部(準加盟)



昨年度はリーグ戦において男子部が1部へ昇格を果たした一方で、女子部が2部に降格する結果となりました。今年度の目標は男子部は王座進出、女子部は1部に昇格することです。そのために選手層を厚くしたチーム作りを心掛け、常日頃から互いに積極的に指導していきます。

● 応援団



いつも厚いご支援ありがとうございます。昨年度は各種体育会の応援や六大学応援団連盟主催「六旗の下に」へ参加し、年末はオレンジの集いを開催致しました。本年はスローガンに『根』を掲げ、実りある活動ができるよう、団員一同日々精進して参ります。引き続き変わらぬご支援の程よろしくお願い致します。

研究・文化活動サポート

世界が抱える課題の解決に資する 実践知に基づく研究を推進

研究・文化活動へのご寄付は、図書館、HOSEIミュージアム、各研究所の活動資金として活用させていただいております。先端的研究の展開・発信や、研究教育環境のさらなる充実を図り、社会課題を解決する「実践知」を創出しつづけます。

Support | 活用事例

● 図書館

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、図書館では非来館で利用可能な電子資料を積極的に購入しており、2021年度は寄付金を活用し電子ブック64タイトルを購入しました。図書館で多く利用されている電子図書館サービス「KinoDen」から、紙の図書資料の貸出回数が多いタイトルの電子版を選定し、図書館に來訪することなく人気図書を閲覧できるようにしました。「KinoDen」において、3,517冊(2022年4月14日現在)の電子ブックを提供しています。2021年度閲覧数は17,613回で前年度比138.2%と増加傾向にあります。本事業での利用ニーズの高い電子ブックの購入により、今後の更なる利用増が期待できます。2022年度もタイトルを充実させ、教育・研究活動に貢献できる環境を整えていきます。



「KinoDen」画面

● 野上記念法政大学能楽研究所

文部科学省認定拠点「能楽の国際・学際的研究拠点」の活動の一環として、貴重資料を収集するとともにそれらの資料をデータ化する活動を行っています。寄付金により、ブックコピーに特化した最新型の専用スキャナーを購入いたしました。スキャナーには前機種には無かったガラスカバーが付属しており、貴重資料を開いた状態で傷めることなく写真データ化を行うことが可能になり、データ化にかかる時間の減少や撮影資料が高精細になるなど作業効率が飛躍的に上がりました。今後もスキャナーを日常的に使用し貴重資料のデータ化を推進してまいります。



ブックスキャナー

● HOSEIミュージアム

この度はHOSEIミュージアムに多大なご寄付を賜り、誠に有難うございました。温かいご支援に、あらためまして心より厚く御礼申し上げます。本ミュージアムは、法政大学140年あまりの歴史を通じて蓄積したコレクションの収蔵、公開、ならびに多様な研究コラボレーションの促進を図るとともに、資源のデジタル化による本学の価値とブランドの発信や、自校教育の拠点ともなる場です。その中心的機能を有する「ミュージアム・コア」、3キャンパス各々の個性を伝える「サテライト」、学内各所でミュージアムとの接点をつくる「ポイント」、多様な学内資源をウェブサイト上で公開する「デジタルアーカイブ」の4つの機能で構成されています。ご寄付は、ミュージアム各機能の一層の充実のために役立てさせていただきます。今後とも、どうか末永いお力添えを頂きますようお願い申し上げます。



HOSEIミュージアム館内

● 沖縄文化研究所

沖縄文化研究所設立50周年に関連する事業として、研究所のこれまでの活動(講演会・シンポジウム)に関する記録写真、及び島嶼調査・中流関係調査などで撮影された映像・写真のデジタル化を行いました。

[写真]

- 中国調査資料(武者資料・大型アルバム35冊) →4257枚(デジタル画像ファイル)
- 沖縄文化研究所活動記録(アルバム21冊) →2646枚(デジタル画像ファイル)
- 沖縄文化研究所調査旅行(アルバム5冊) →484枚(デジタル画像ファイル)

[9mmビデオテープ]

- 沖縄島嶼調査(永瀬克己資料20本・武者英二資料3本) →デジタルファイル化

DATA

2021年度活動成果

○実施事業一覧

■図書館、HOSEIミュージアム、各研究所の活動支援

○寄付金額

4,222,338円

Support | 活用事例

●ボアソナード記念現代法研究所

ボアソナード博士関係の文献・資料を収集するとともに、いくつかのプロジェクトベースの研究活動を実施しています。現在、(1)都市法、(2)社会法、(3)国際関係、(4)現代法システム論、(5)法史学という、5つの分野で研究活動が実施され、これらの集大成として叢書を刊行しています。2022年度および2023年度には、通常の叢書刊行ペースを上回る合計7件の叢書刊行を予定しており、寄付金を活用して確実に叢書刊行したいと考えています。

〔叢書刊行予定テーマ〕

- 「消費者紛争解決手段の発展に向けた実体法・手続法の役割」
- 「現代国際社会における立憲主義をめぐる西欧と東アジアの対話」
- 「現代国際秩序における正当性の相克」
- 「権威主義化の進む世界と憲法改正」
- 「判例を通じてみたイギリス法 - 歴史的経緯と現代との架橋 -」
- 「自治体議会機能の活性化と議会補佐機能強化の検証」



●イノベーション・マネジメント研究センター

イノベーションに関する研究を中心とした研究プロジェクトの推進と、一般図書館では収集しにくい専門的な資料を所蔵するデポジット・ライブラリー(保存図書館)機能の2つを柱に活動を行っています。

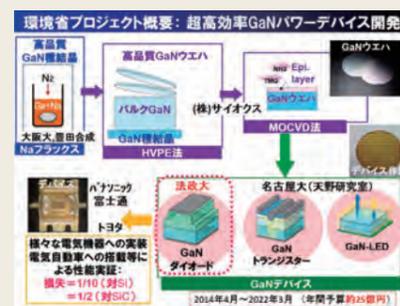
寄付金は図書・資料の購入、研究会の開催、研究プロジェクトにおける成果物の献本、シンポジウムの開催等に活用させていただいております。2009年5月に、11関連業界団体および4学術団体・研究機関の支援を受け設立した「流通産業ライブラリー」の蔵書数は、2021年度末で40,891冊となり、多くの研究者と実務家の情報収集と人脈形成の基点となっています。



購入した図書・資料

●イオンビーム工学研究所

法政大学100周年を記念して「原子核物理」と「半導体材料関連物質」研究を融合した私立大学最初の小型加速器を利用した研究所です。現在は工学に焦点を当てた研究が行われています。太陽電池や2次元電子状態物質、その他環境に優しい(エネルギー変換効率が高い)次世代半導体として窒化ガリウム半導体(GaN)が活発に研究されています。GaNに関しては2014年にノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学の天野教授率いる複数のプロジェクトに本研究所の教員が参加していました。最近の特に優れた成果としてGaNの高性能デバイスの開発に関して世界トップデータとなる5000V耐圧のデバイスが実現されており、更なる研究が進められています。寄付金は研究所で必要なガス等の消耗品として使用させて頂きました。



GaNの高性能デバイスの開発図

●地域研究センター

地域研究センターは、2003年に文科省「私立大学学術研究高度化推進事業」によって設置されました。法政大学の地域連携機関として、また地域の学術研究の拠点として、中小企業、地方自治体等に支援、政策提言を行い、地域社会に還元することを目的としています。具体的な取り組みとして、(1)自治体などと事業協力協定を締結し地域振興に必要な相互連携を行う(2)各省庁や自治体、NPO、企業などを対象にコンサルティング業務などを受託しています。

2022年度は、特に「道の駅」に焦点を当てた活動をしていきたいと思っております。新しい道の駅や特徴ある道の駅に関する情報収集、および視察や自治体でのアドバイスなどを実施したいと考えています。昨年度は、島根県雲南市役所、宮崎県都市懇話会、富山県高岡市懇話会での講演を実施しました。今後は道の駅に関する本の出版を検討していきたいと思っております。



島根県道の駅「ゆうパーク浜田」

●国際日本学研究所

国立歴史民俗博物館・奈良文化財研究所等の国立研究機関等と連携し、研究に役立つデータベースを保有しています。寄付金はデータベース構築のため、資料購入費として使わせていただきました。また、国際日本学の発展のためウェブサイト上での情報公開をすすめることは本研究所の重要なミッションです。サーバーのセキュリティ強化作業等しながら、より安全で使いやすいデータベースを構築するための作業を行っています。

- 〔購入資料一覧〕
- ①『藤氏家伝を読む』 全1冊
  - ②『出雲国誕生と奈良の都』 全1冊
  - ③『西域探検紀行全集』 全16冊



購入した資料・文献

●大原社会問題研究所

東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料の資料リハウジングのため、「資料棚」と「資料箱」などを購入し、資料保管場所の省スペース化が実現しました。また、古賀照男・葉害スモン資料(一部)のスキャンを80ファイル分8,642コマを行い、資料の保存環境を向上させることができました。



購入した資料棚

●江戸東京研究センター

本研究センターが主催となり、H O S E | ミュージアム江戸東京研究センター特別展「<人・場所・物語> - Intangibleなもので継承する江戸東京のアイデンティティ」(会期: 2021年9月7日~10月3日)を市ヶ谷キャンパスの4か所を利用して開催しました。寄付金は、その際の模型製作や展示にかかる費用として使わせていただきました。

文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択されてスタートした本センターの活動が2021年度で5年目の一区切りを迎えたことから、その成果をすべて公開し、<江戸東京研究>が法政大学のブランディングとして社会に広く認識されることを目指してきました。その成果としての特別展でしたが、期間中の来場者数は652名を数え、法政ミュージアム開設以来最大の規模となりました。今後も本センターの事業を継続させるために、ぜひともこれまで通りご支援を継続して下さいますよう、ここにお願い申し上げます。



江戸名所図屏風模型

●エコ地域デザイン研究センター

本研究センターは、従来より水辺まちづくりに軸足を置き、国内外の研究を積んできております。近年では「地域の来歴や水を軸とした自然環境を活かしたまちづくりのあり方」といったテーマについて、概念として非常に近いイタリアで用いられている「テリトリーオ」という語を掲げ、玉川・武蔵野、瀬戸内、潟(新潟)、斐伊川・島根半島、佐原域域連携といった地域をとりあげています。コロナによりやや停滞を迫られていたこれらテリトリーオ・プロジェクトを再起動し、確実に推進していきます。

テリトリーオ・プロジェクトを推進していくことで、本研究センターが長年テーマとしてきた水を活かしたよりよい生活環境づくりに向けた、具体的な知見やまちづくりのヒントなどを具体的に得ることが期待されます。そして、それぞれのフィールドで、またこれを応用して様々な生活空間づくりの場面での実践知としていくことを成果として期待しています。



シンポジウム「自然観の転換と川との共生」

●スポーツ研究センター

多摩・市ヶ谷・小金井3キャンパス横断的に所員が在籍しており、共用PCを活用し、会議、共同研究を進めています。寄付金を共用PCのソフトウェアの購入に活用させていただいたことで、共同研究をより円滑に行うことが可能になりました。

●情報メディア教育研究センター

①計算科学とデータサイエンスの研究基盤の整備、②ICTを活用した新たな教育モデルの研究の推進、③大学院・コミュニティ・企業との共同研究の推進の3つの方針のもと、メディア基盤に係わる教育・研究の発展と情報技術の活用を行っています。寄付金は研究活動に必要な消耗品の購入に活用させていただきました。ありがとうございました。

●マイクロ・ナノテクノロジー研究センター

地球環境問題の解決策を提供するグリーンテクノロジーの基盤技術を開発し、地球の環境保全等に貢献する事を目的として研究を進めています。寄付金は2021年度に開催した「グリーンソサエティーセミナー(年3回開催)」の開催費用として活用させていただきました。当セミナーでは、講演者を招き、ナノテクノロジー分野における最新研究の成果や、近年話題となっている研究分野の進展について講演いただきました。研究遂行において重要な知識を教授いただくばかりでなく、当該分野における先端研究者と交流できる貴重な機会を学内外に提供する事ができました。

日本統計研究所および比較経済研究所の活動については、各研究所にお問い合わせください。

# 社会貢献プロジェクト等

## 教育と研究の成果を社会に還元する 多様なプロジェクトをサポート

法政大学は、「HOSEIみらい募金」や「リーディング・ユニバーシティ法政募金」以外にも、皆さまからのご支援により、さまざまな社会貢献プロジェクトを行っております。コロナ禍で計画の変更を余儀なくされているプロジェクトもございますが、今後も「社会をよくするためのプロジェクト」を進めてまいります。

### DATA

○実施事業一覧

- KANDAI×HOSEI SDGsアクションプランコンテスト
- 地方共創プログラム
- 箱根駅伝応援募金
- 法政大学エコ本

2021年度  
活動成果

○寄付金額

**7,956,061円**

### Support | 活用事例

事例  
1

## KANDAI×HOSEI SDGsアクションプランコンテスト

**成果** 学生のSDGsに対する意識向上、学生のSDGs活動の推進

連携協定を結ぶ関西大学との共催で、「KANDAI×HOSEI SDGsアクションプランコンテスト2021～持続可能な未来のために私たちができること～」を実施しました。本コンテストは、学生たちが「持続可能な社会」について主体的に考え、SDGs達成に向けての具体的な提案を行うことが目標です。

一次審査を通過した10組の学生チームが、2021年12月に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催されたコンテストに出場し、大学での日常の学びで得た知識や柔軟な発想を生かしたプランを発表しました。法政大学からは、「Insect3.0」が『異色のコラボ「メコン川流域国の昆虫食×日本の障害者就労」』で優秀賞を受賞しました。

ご寄付は受賞した学生チームの発表プランの活動実施にかかる費用の一部として活用させていただいております。



審査員の講評



コンテスト参加者写真

事例  
2

## 地方共創プログラム

地方共創プログラムは、地方自治体から提示された課題・テーマに対して、自治体や地元企業へのインタビュー、文献調査、現地フィールドワークを行うことで、学生たちが地域活性化につながる企画を提案する教育プログラムです。学生にとって新たな知見・経験を身に付けられるとともに、課題解決力、チーム力、コミュニケーション力の涵養につながり、社会課題の解決につながる「実践知」を創出することが期待されます。

2021年度は大分県杵築市と島根県松江市を対象に行いました。杵築市は本学の創設者である「金丸鉄」「伊藤修」の、松江市は本学の初代総長の「梅謙次郎」のふるさとです。新型コロナウイルスの感染拡大状況および緊急事態宣言の延長等により、現地でのフィールドワークは断念したものの、大分県杵築市・島根県松江市等の多大な協力を基に、学生はWebを活用した現地関係者へのインタビュー等も行い、プログラムを通じて各自治体にプログラム活動成果(提案)を報告しました。寄付金は、活用予定であった現地の学生フィールドワークが実施できなかったため、2022年度の本プログラムに活用させていただく予定です。



最終報告会写真

# 法政大学憲章

ビジョン  
(私たちの理念)

## 「自由を生き抜く実践知」

### 法政大学は、社会課題の解決につながる「実践知」を創出しつづけ、卒業生たちと力を合わせて、持続可能な社会の未来に貢献します

「実践知」とは、人間が目標にすべき価値を考え、それを現場で実現する方法を探求する知性です。

法政大学は、在学生・卒業生が、常に社会や人のために考え行動できる、自立した真の自由を生き抜こうとする自立した市民に育つことを第一の教育理念とし、地域から世界まであらゆる立場の人々への共感に基づく健全な批判精神をもち、現場において社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつづける能力を育むことを第二の教育理念としています。

法政大学の学びで身につけた「自由を生き抜く実践知」を持った卒業生同士が結びつき、力を合わせて、持続可能な地球社会をつくる“みらい”を法政大学は目指しています。

## 法政大学憲章

## 自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期にあつて、  
権利の意識にめざめ、法律の知識を求め  
多くの市井の人びとのために、  
無名の若者たちによって設立されました。

校歌に謳うよき師よき友が集い、  
人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」と、  
なにものにもとらわれることなく公正な社会の実現をめざす  
「進取の気象」とを、育んできました。

建学以来のこの精神を受け継ぎ、  
地球社会の課題解決に貢献することこそが、本学の使命です。

その使命を全うすべく、  
多様な視点と先見性をそなえた研究に取り組むとともに、  
社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす  
自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく  
健全な批判精神をもち、  
社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつづけ、  
世界のどこでも生き抜く力を有する  
あまたの卒業生たちと力を合わせて、  
法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

# 募金活動収支報告

法政大学にご支援いただきありがとうございました。皆さまからのご寄付は、ご指定いただきました募金プロジェクト(使途)にて大切に活用させていただいております。

## 2021年度受入概要

申込件数	3,643件 (うち遺贈による件数 1件)	寄付金収入	447,666,395円 (うち遺贈による寄付 105,869,397円)
------	-----------------------	-------	---------------------------------------

HOSEIみらい募金 合計829件	リーディング・ユニバーシティ法政募金 合計1,975件	教育振興資金 合計319件	寄付研究 合計52件	各種寄付金 合計460件
総額 121,792,305円	総額 142,415,248円	総額 36,044,858円	総額 47,210,000円	総額 96,603,984円

※2021年度受入分の執行残額は、2022年度以降に繰り越して執行いたします。

寄付講座  
合計8件/総額3,600,000円

## 受入内訳

HOSEIみらい募金 ●合計 829件	総額 121,792,305円	829件	121,792,305円
リーディング・ユニバーシティ法政募金 ●合計 1,975件	総額 142,415,248円	奨学金サポート	826件 58,560,628円
		施設設備サポート	72件 785,302円
		スポーツサポート	590件 28,445,744円
		学生生活サポート	24件 1,957,022円
		国際化サポート	89件 2,734,000円
		研究・文化活動サポート	96件 4,222,338円
		学校サポート	135件 4,678,213円
		新型コロナウイルス対策支援	103件 20,114,241円
		その他の使途	20件 20,624,760円
		無指定	20件 293,000円
教育振興資金 ●合計 319件	総額 36,044,858円	教育振興資金 学部・大学院	167件 21,750,010円
		教育振興資金 中学高等学校	35件 4,539,848円
		教育振興資金 第二中等高等学校	71件 6,825,000円
		教育振興資金 国際高等学校	46件 2,930,000円
寄付研究 ●合計 52件	総額 47,210,000円	寄付研究 市ヶ谷キャンパス研究所・センター	13件 6,510,000円
		寄付研究 多摩キャンパス研究所・センター	2件 730,000円
		寄付研究 小金井キャンパス研究所・センター	37件 39,970,000円
寄付講座 ●合計 8件	総額 3,600,000円	法学部 生活クラブ生活協同組合・東京	2件 1,000,000円
		法学部 法学部同窓会	1件 400,000円
		キャリアデザイン学部 公益社団法人教育文化協会	1件 2,000,000円
		社会学部 特講ローカルジャーナリズム論	4件 200,000円
各種寄付金 ●合計 460件	総額 96,603,984円	法政大学エコ本	- 795,439円
		後援会学生支援費寄付金	1件 87,647,923円
		東京箱根間往復大学駅伝競争寄付金	376件 5,805,622円
		SDGsアクションプランコンテスト	1件 100,000円
		地方共創プログラム募金	81件 1,255,000円
		田嶋記念大学図書館振興財団寄付金	1件 1,000,000円

合計 3,643件 総額 447,666,395円

## 2021年度支出概要

HOSEIみらい募金	リーディング・ユニバーシティ法政募金	教育振興資金	寄付研究	各種寄付金
総額 121,792,305円	総額 204,307,090円	総額 21,750,010円	総額 44,610,871円	総額 94,723,545円

※2021年度支出には、2020年度以前受入分の繰越金(執行残額)の支出も含まれています。

寄付講座  
総額2,956,441円

## 支出内訳

121,792,305円	総額 121,792,305円	HOSEIみらい募金	
奨学金サポート※1	13,500,000円	総額 204,307,090円	リーディング・ユニバーシティ法政募金
施設設備サポート	785,302円		
スポーツサポート	33,422,971円		
研究・文化活動サポート	562,902円		
学校サポート	2,857,547円		
新型コロナウイルス対策支援	27,245,987円		
その他の使途	27,961,140円		
無指定	6,312,383円		
新型コロナ緊急対策奨学金	25,862,500円		
奨学金(2021年6月以前募集分)※1	33,094,617円		
グローバル教育支援(2021年6月以前募集分)	5,810,892円	総額 21,750,010円	教育振興資金
スポーツ振興(2021年6月以前募集分)	10,674,129円		
研究支援(2021年6月以前募集分)	5,377,957円		
教育とキャリア(就職)支援(2021年6月以前募集分)	7,404,513円		
専門職大学院支援(2021年6月以前募集分)	3,434,250円	総額 44,610,871円	寄付研究
教育振興資金 学部・大学院	21,750,010円		
寄付研究 市ヶ谷キャンパス研究所・センター	8,876,275円		
寄付研究 多摩キャンパス研究所・センター	609,067円	総額 2,956,441円	寄付講座
寄付研究 小金井キャンパス研究所・センター	35,125,529円		
法学部 生活クラブ生活協同組合・東京	500,000円		
法学部 法学部同窓会	400,000円		
キャリアデザイン学部 公益社団法人教育文化協会	1,856,441円	総額 94,723,545円	各種寄付金
社会学部 特講ローカルジャーナリズム論	200,000円		
法政大学エコ本	1,170,000円		
後援会学生支援費寄付金	87,647,923円		
東京箱根間往復大学駅伝競争寄付金	5,805,622円		
SDGsアクションプランコンテスト	100,000円		

※1 リーディング・ユニバーシティ法政募金の奨学金サポートおよび奨学金については、運用果実型奨学金は基金組入れ額を、取崩し型奨学金は取崩し額を記載しています。  
 ※2 2021年度支出には、2020年度以前受入分の繰越金(執行残額)の支出が含まれているため、2021年度受入額を超過している場合がございます。

総額 490,140,262円 ※2 合計